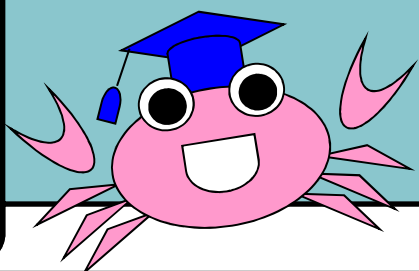


水ときらめき紀の川館に

団体の来館者がありました



流水調整課

H30.06.19

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、**和歌山市立安原小学校4年生**の皆さんが見学に来られ、当事務所から流水調整課長他2名が対応しました。きらめき館前の河川敷で楽しそうに昼食のお弁当を食べて元気に走り回っていた皆さんが、雨を予感させる蒸し暑さでほてった顔をして来て下さいました。

説明が始まると、集中してスライドを見ながら内容を書き写す姿や、こちらの問いかけに手を挙げて発表してくれる姿をたくさん見せてくれ、充実した学習時間となりました。

徒歩で向かった魚道観察室では、残念ながら魚の姿は見れませんでした。魚道の上からゆらゆらと泳いでいる大きなボラやコイなどを見て、大喜びする皆さんの姿が見れました。

先生から「わかりやすい説明をしていただき、ありがとうございました。子供たちも理解しやすかったと思います」との感想をいただきました。

団体見学概要

日 時： 平成30年6月18日(月) 13:00～14:30

会 場： 水ときらめき紀の川館

参加人数：92名(生徒87名、先生5名)

団体名： 和歌山市立安原小学校4年生



1. 紀の川大堰概要説明

まずは、職員の説明で、スライドを用いて紀の川と紀の川大堰の仕組みや役割をクイズ形式で学びました。

集中して話を聞き、一生懸命メモをとる様子。



2. 館内の見学

2階にある操作室をガラス越しに見学。職員の話にキラキラした目で聞き入る皆さんの様子。



2号車チームさん
レポート～



次に3階展望デッキへ。気温がぐんぐん上がっていましたが、とてもきれいな雲が見られ、みんなで集合写真を撮りました。



3. 館外の魚道見学



魚道に到着！

まずは人工河川式、階段式、デニバチとそれぞれの魚道を上からのぞいて、流れ方の違いや自然に生息しているボウヤやコイをたくさん見ました。



階段式魚道を横から見ていただける魚道観察室には、紀の川に関する展示もたくさんあります。



魚道からの帰り道、きらめき館の展望デッキから、1号車さんチームが手を振ってくれていました。



操作室前でのお話しのおさらい

「操作室」と呼ばれるこの部屋は、紀の川や紀の川大堰のすべての情報や大堰の操作スイッチを集めているとても大切な部屋となっています。昼も夜も週末もお正月もつねに人がいて、紀の川大堰の監視をしています。

台風や大雨などで、川の水が増えたときには、職員全員が集まって、この部屋で紀の川大堰のゲート进行操作します。

ゲートを開けると大量の水が流れていくので、動かす前には、パトロールカーで海まで巡視をしたり、警報を鳴らし、水が流れる方向の地域の方々に注意を促し、安全を確認してから水を流します。

